

第2次

大宮自治活動計画

令和4(2022)年度



令和5(2023)年度

おおみやaiプラン



大宮地区自治協議会

1		自治環境部会 ～地域活性化と居住環境の維持・改善向上～			【部長；吉岡】		
目標期間		活動計画への展開	計画番号	【過年度計画の活動総括】	計画期間の活動計画（取り組み）		備考
短期	長期				2022年度	2023年度	
(1) 西九条佐保線計画、大宮通り新ホテル・交流拠点事業、その他開発行為への対処 (5)(7)(10)							
	<input type="radio"/>	西九条佐保線への住環境維持の観点からの的確対応、地権者不安解消	①	要望事項の協議難航、地権者説明会開催	要望事項に対する進捗協議の続行、地権者不安解消策の継続実施		県
	<input type="radio"/>	生活道路としての機能維持など地域コミュニティの人流確保	②	横断歩道、信号機設置などの要件厳守を要請	道路横断確保、信号機設置などの文書確約の無い限り協議に応じない姿勢を堅持		
	<input type="radio"/>	大宮通り新ホテル・交流拠点事業への対処、事業者連携	③	事業者との地域連携組織の運営、自治協議会加入	「タカマヅミ」協議会活用等による観光公害の未然防止、地域活性化策の検討実施		
	<input type="radio"/>	マンション・ホテル・商業施設等の地区内開発行為への適確な対応	④	空地の高度化利用等の増加、対応への遅れあり	開発者との開発段階での影響緩和協議、完成後の自治会結成や加入促進、良好な近隣関係への誘導などに注力		
(2) JR奈良駅西まちづくり運営協議会（JR奈良駅西のにぎわい創出） (5)(8)(10)							
	<input type="radio"/>	運営協議会の定期開催と実効性ある企画検討協議	①	コロナ禍により書面開催、事業は中止	偶数月に開催予定(情報交換など) 期末は3月開催	偶数月に開催予定(情報交換など) 期末は3月開催	市
	<input type="radio"/>	JR奈良駅西側の立地事業者へ組織拡大への働きかけ	②	JA及びホテル事業者へ打診を見合わせ中	JA及びホテル事業者との意向打診	JA及びホテル事業者との意向打診	
	<input type="radio"/>	にぎわい市場、ピクニックコート、大文字・若草山焼き、歴史教室等の実施	③	感染症拡大防止のため中止、見直し示唆	はぐくみセンター管理課の対応難及び新型コロナウイルス対策など保健所機能維持のため中止、見直し検討		
(3) 安全な遊びの空間確保へ街区公園等の整備充実 (7)							
	<input type="radio"/>	地区内の街区公園に水道を施設トイレをつくる	①	大宮町四丁目街区公園に水道設備完成	他公園のニーズ把握と優先順位を判断し、必要により申請		県・市
	<input type="radio"/>	西九条佐保線余剰地や空き家跡等視野に小公園の増設	②	個別案件の洗い出し、可能性調査未着手	利活用関係法令の調査研究	個別案件の洗い出し、可能性調査	
(4) 佐保川親水公園の利活用、堤防道路の歩車道分離による安全化 (6)(8)							
	<input type="radio"/>	親水公園の役割分担（協定締結）と維持管理	①	現地引継ぎ、日常管理の地元体制検討中	日常管理の協定・覚書等締結、維持管理体制の確立、維持管理グループづくりによる実践		県・市
	<input type="radio"/>	親水公園を中心とした空間でのイベントなど利活用	②	利活用策の協議（対；県・市）継続中	県及び市と利活用策の協議、花見イベント計画	地域事業との整合による利活用策の実施	
	<input type="radio"/>	堤防道路の歩車道分離による安全化	③	協議停滞	要望事項の再確認と追跡	歩車道分離実現化へ関係先協議	
(5) 大宮クリーンアップ作戦（清掃活動、ペットマナーの向上運動ほかソフト面）の実施 (7)(10)							
	<input type="radio"/>	全員参加型の佐保川・菰川クリーン・アップ行動	①	コロナ禍で見合わせ中	隣接自治会を含め、オール大宮で実施	隣接自治会を含め、オール大宮で実施	安全部
	<input type="radio"/>	地区単位、ブロック単位、自治会単位等によるクリーンアップ活動	②	各層によるクリーンアップ活動一部実施	自治会単位での活動拡大と継続的実施の依頼	自治会単位での活動拡大と継続的実施の依頼	
	<input type="radio"/>	犬などの散歩のルールをつくり、知ってもらい、独自のマナーづくり	③	広報紙、チラシ等によるキャンペーン未実施	広報紙、チラシ等によるキャンペーンの実施検討	広報紙、チラシ等によるキャンペーンの実施検討	
(6) まちの安全化への取り組み（バリアフリー化、ゾーン30拡大などハード面）強化 (3)(4)(7)							
	<input type="radio"/>	歩道やガードレールの点検、段差の解消、点字ブロックの設置	①	改善箇所のリストアップ未着手、通学路一斉点検改修	調査隊編成と現地調査、通学路一斉点検箇所のフォローアップ実施		安全部
	<input type="radio"/>	標識や看板の統一と削減、ブロック塀の全面的生垣化	②	標識・看板類の取り組み方検討未着手	調査隊編成と現地調査（上記と同時実施）		
	<input type="radio"/>	横断歩道の設置とスクランブル化への働きかけ	③	イズミヤ前に横断歩道設置、供用開始	要望事項（大宮通り小学校北東交差点）の追跡、実現性確認		
	<input type="radio"/>	セーフティゾーン（30キロ制限の「ゾーン30」）の拡大	④	設置箇所（南部ブロック）確認し申請時期検討	設置箇所の（南部ブロック）地域内協議、警察署へ打診	西九条・佐保線の状況を判断し申請手続き	
(7) 地域とともにある学校園への参画と協働 (12)(13)							
	<input type="radio"/>	地域で決める予算事業、放課後子ども教室事業等への参加	①	コロナ禍で書面方式で学校評価などを実施	学校運営協議会への参画、学校諸行事への参加、育ち支援部との協調		育ち支援部
	<input type="radio"/>	大宮地区内の学校・園の「開かれた学び舎」づくりへの関与	②	着想はあるが移行段階で具体的な進展なし	保育・幼稚園の子ども園化や民営移行の推移注力（子ども安全や育ち支援の横断的な情報交換の場）		
(8) 地域活性化への取り組み（基盤組織として自治連合会機能の発揮） (11)(16)(17)							
	<input type="radio"/>	大宮地区自治協議会運営への、主導的役割の発揮	①	理事会、事務局でのイニシアティブ向上	理事選出、事務局機能強化、理事会・定時総会対応、安全部との一体運営検討協議		各部連携
	<input type="radio"/>	意志疎通の活発化と情報共有による自治会活動の円滑実施	②	各種会議の開催と研修の実施、ブロック編成確認	総会、自治会長会議、役員会、研修会などによる情報共有、ブロック編成位置づけ（規約変更）		
	<input type="radio"/>	関係する各種団体への活動支援と協調の継続実施	③	分担金や助成金による金銭支援実施	消防団三笠分団・公民館グループ協・三笠中少年指導・菰川環境美化協議会などへの支援と活動の協調		
	<input type="radio"/>	未加入自治会員へのアプローチと情報共有、一体感の醸成	④	広報紙等の配布と掲示板などの点検、加入呼びかけ	配布事業の受託継続、掲示板点検、不断の加入呼びかけ	掲示板など広報媒体の配置見直し、加入呼びかけ	
	<input type="radio"/>	活動組織（防災防犯活動・高齢者福祉活動）等への支援と取り組み	⑤	自治会レベルでの活動の活発化要請	[安全部会]への支援、[福祉部会]（民生児童委員との見守り連携）との連動		

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以降

2 安全部会 ～みんなで創る安全安心なまちづくり～ 【部長；坂井】

目標期間		計画 番号	【過年度計画の活動総括】	計画期間の活動計画（取り組み）		備 考
短期	長期			2022年度	2023年度	
(1) 備災・防災・減災・防犯につながる啓発活動と訓練の実践 (①～④⑥⑦)						
○	備災・防災・減災・防犯につながる広報活動	①	広報紙「きずな」の各号に記事の提供を継続	広報紙「きずな」への記事提供による啓発活動の継続。「啓発チラシ」の作成、住民への配布		情報人財
○	地区内危険箇所の点検と整備の呼び掛け、働き掛け	②	小学校に危険箇所情報の地図、写真を提供	危険箇所の情報収集と確認を継続	情報収集と確認、住民への情報提供・避難ルート認知マップ配布	自治環境
○	一時集合(避難)場所を活用した避難訓練	③	コロナ禍による活動中止	各自治会等に訓練の実施を呼び掛け	各部会と協力し地区全域参加による総合防災訓練の実施を予定	
○	定期的な研修・講習・訓練の実施	④	11月・2月に極小規模で実施	状況に対応して企画・立案・実施(各避難所での訓練)		
○	河川・堤防清掃の継続(佐保川・菰川)	⑤	コロナ禍による活動中止	今後の活動は自治環境部会と協力して実施(大宮クリーンアップ作戦の一部)		
○	防災・防犯家族会議の推奨	⑥	未着手	「きずな」・チラシ等による呼び掛け	育ち支援部会と共同で児童から家族会議の呼び掛け(②も連動)	育ち支援
(2) 指定避難所・自治会避難場所・事業所等の運営体制の整備 (①②)						
○	一時集合(避難)場所・避難所の周知、徹底	①	各自治会長に呼び掛け実施(自治協参加マンションは未着手)	各自治会の避難所・一時集合(避難)場所の再確認と各住民への周知、徹底		自治環境
○	地区内全避難所の運営体制・環境整備	②	未着手	各避難所等との連携を図る打合せの開催	各避難所等の災害時の運営体制の構築と環境整備	
○	避難所内に生活用水を確保	③	井戸掘削準備金を積み立て中、行政の協力不調	掘削準備金の積み立てを継続、プールの水使用を検討	プールの水使用のためのポンプ工事の検討	
○	防災倉庫の定期点検・維持管理	④	大宮小防災倉庫が手狭のため一基増設	防災倉庫の維持管理と充実	全防災倉庫の棚卸による整備、点検	
(3) メーリングシステムなど災害情報発信の仕組みの充実 (①～③⑧)						
○	OMSへの加入者の増員	①	未加入者へ自治連からの呼び掛けにも協力不調	各部会と連携して加入者の増員を図る	大宮地区の携帯電話所持者への加入を促進	情報人財
○	情報発信と伝達	②	災害情報の発信実績なし	「おおみや安心システム」と共同で災害情報発信が出来るよう整備 「おおみや安心システム」推進会議に協力し、システムの見直しを検討		安心システム
(4) 避難行動要支援者への支え合い「おおみや安心システム」の稼働 (①②④⑧～⑩)						
○	自力避難が困難な避難行動要支援者の避難行動プランを作成	①	避難行動要支援者全員への郵送による「おおみや安心システム」のアンケート調査を実施	避難行動要支援者のプラン作成は行政の指導での活動、各部会との協力で推進	アンケートからの情報収集、行政と検討	安心システム
○	健康管理、人のつながりを兼ねた避難所確認	②	防災防犯協議会からの福祉部会への支援、協力なし	福祉部会に協力		福祉
○	障がい者理解を深める公開講座の開設、認知症サポーター育成	③	未着手	福祉部会の課題のため移管要請		福祉
○	避難行動要支援者の見守り	④	現行自治会に依頼	「安心ネット」が設立されるまで、往復はがきによる年2～3回程度の見守りを予定(各部会の協力、データの入力等で自治協の協力が必要)		安心システム
(5) 医療機関とスーパーマーケット等との連携、協定締結 (②⑨⑩)						
○	医療機関等との医療援助に関する協定締結	①	未着手	行政と他地区の取り組みの情報収集	収集情報の分析と連携の検討	福祉
○	スーパーマーケット等との物資供給に関する協定締結	②	大型スーパー・コンビニ等関係は行政との協定は締結済み	情報収集と自治会単位での個別協定等の検討		
(6) 道路拡幅に伴う横断歩道の安全確保、「ゾーン30」の拡大 (②⑭)						
○	道路拡幅に伴う横断歩道の安全確保	①	西九条佐保線対策委員会が対応	西九条佐保線対策委員会に協力		自治環境
○	「ゾーン30」の拡大	②	1か所申請、却下される	自治環境部会・西九条佐保線対策委員会と連帯、該当場所の連絡・申請に協力		
(7) 防災士会、地域安全推進委員等の人材の発掘育成 (①～④)						
○	防災士の人材発掘と育成	①	2021年度の受講者はなし	防災士団(仮称)の結成と防災訓練への協力要請	防災士団(仮称)による防災訓練の実施を要請	
○	地域安全推進委員の人材発掘と育成	②	地域安全推進委員会代表者会議が対応	地域安全推進委員会代表者会議に協力		
(8) 「おはようみまもり・おかえりみまもり」の重層的見守り(②③⑬⑭)						
○	声かけ、鍵かけ運動(絆)の奨励、「のぼり」の掲出継続	①	広報紙「きずな」で全地区に呼び掛け、「のぼり」の掲出は継続中	「きずな」・チラシ等での呼び掛け、「のぼり」の掲出を継続	「おおみや安心システム」・OMSでの配信、伝達、「のぼり」の掲出継続	安心システム
○	安全パトロール等の継続	②	自転車パトロール、定点見守りを継続	各部会・PTAに協力要請、検討会議の開催夜間見守りの計画、実施	見守りの継続実施、地域住民へ協力呼び掛け、行政とガードマンの検討	育ち支援
(9) 防犯カメラ・防犯灯の充実した街づくり (③)						
○	防犯カメラ・防犯灯の充実	①	3か所に設置されたが、情報の把握できず	防犯カメラ・防犯灯の必要場所の情報収集と行政への取り組み依頼		
(10) 防災防犯協議会事務局の充実 (①～④)						
○	事務局員の増員	①	事務局員確保、専従事務局員を1名理事へ増員依頼	情報人財部会の協力を得て増員(所属なしの一般の人でPC等のできる人材)	増員者は防災士の受講、防災・防犯訓練参加等で協議会の認識を高める	情報人財

凡例＝短期：1～2年、長期：3年以上

2021.12.30.

目標期間		活動計画への展開	計画番号	【過年度計画の活動総括】	計画期間の活動計画（取り組み）		備考
短期	長期				2022年度	2023年度	
(1) ふれあいの場づくりと高齢者支え合いへの支援 (⑦⑧⑨⑩)							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各団体の個々の高齢者福祉活動を尊重し、お互いに支え合う体制を作る	①	各団体の小規模に実施していたが、コロナ禍により実施は不定期になる	コロナへ対応、各団体の高齢者福祉活動を継続、互いに支援し合う体制を作る	各団体の高齢者福祉活動を継続し、お互いに支援し合う体制を作る	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者の地域福祉の拠点づくりをして、各団体のサロンの場を広げる	②	様々な場所で実施していたが、施設の制約などで実施できない場合があった	高齢者の健康をテーマの拠点づくりをする	テーマを広げ、高齢者の地域福祉の拠点づくりをする	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者のふれあいの場を提供し、個々の生きがいに繋げる	③	春のお花見ウォーク・秋の健康ウォークを開催し、好評を得た	春のお花見ウォーク・秋の健康ウォークを開催	春のお花見ウォーク・秋の健康ウォークを開催	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①高齢者生きがいづくり。地域事業を委託し、現金収入を得る	③-①	高齢者主体にしみんだより等配布事業で実施中	具体的な活動事例があれば検討実施する	具体的な活動事例があれば検討実施する	企画財務
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	②高齢者農園で健康と生きがいづくりの機会をつくる	③-②	大宮農園では少しずつコミュニケーションが出来つつある	農園内のコミュニケーションに終わらず、地域活動に広げる	収穫体験を通じ、幼児・園児との交流を図る	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	③放課後子ども教室等に参画する	③-③	幾つかの団体が音読朝ごはんにスタッフとして参加している	放課後子ども教室にも参加するように呼びかける	放課後子ども教室に参画する	育ち支援
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(コロナ禍の中) 高齢者同士で支え合う仕組みをつくる	④	コロナ禍の中、励ましのメッセージを発行し、好評を得た	「高齢者の健康」をテーマに励ましのメッセージを発行する	励ましのメッセージを発行する	
(2) 多世帯が集い、ハンディーを感じさせない居場所づくり (⑧⑩)							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存の企業・商店・飲食店との協働による機会・場所づくり	①	子ども食堂（社協）で部分的に実施中	情報収集しチャンスを探る（継続課題とする）	情報収集しチャンスを探る（継続課題とする）	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	空き家の利活用の方法について、行政と連携する	②	未着手	行政からの情報収集（継続課題とする）	行政からの情報収集（継続課題とする）	企画財務
(3) 地域内医療機関・介護機関・担当行政機関等との連携 (⑨⑩)							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大宮地区内医療機関・介護機関との連携と協働を図る	①				企画財務
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①見守り・ふれあい、サロン活動やワークショップ・講座の開催への協力	①-①	未着手	イベントへの参加呼びかけ、講演会などへの講師派遣、避難所での対応など連携への機会をつくる		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	②地域のイベントでの協力	①-②	未着手			
(4) 地域包括ケアシステム・認知症ケアへの取り組み (⑨⑩)							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	見守り・ふれあい、サロン活動やワークショップ・講座の開催への協力 (3)と共通	①	未着手			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域のイベントでの協力 (3)と共通	②	未着手			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	体験型のワークショップを開催する	③	未着手			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者のフレイル（虚弱）予防の活動を展開する。	④	各団体の健康講座を開催 フレイル予防ポスター配布	障がい者スポーツ「ポッチャ」の指導者を育成する	障がい者スポーツ「ポッチャ」を定期的実施する	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	フレイルサポーターを養成する。	⑤	未着手			
(5) 大宮版「ぐるっとバス」の運行（通園・通院・買物etc） (⑦⑧⑨⑩)							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	循環バス（運輸業者との協働、ならびに医療機関からの資金拠出）	①	未着手	住民ニーズの把握、「ミ・ナール」への打診、白藤学園の保育・幼稚園経営に伴う意向確認（継続課題とする）		企画財務
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域行事への送迎の検討	②	未着手	①の発展形としての可能性検討（継続課題とする）		
(6) 「おおみや安心システム」による安否確認、双方向通信 (⑦⑧⑨⑩)							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「おおみや安心システム」の構築による平常時の見守り	①	災害時要支援者など対象者の登録者募集活動に参画	定期継続的な安否確認による対象者の見守り		安心システム
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「おおみや安心ネット」構築参画	②	未着手	システムに乗れない人たちへの手立てについて検討実施していく		

4 育ち支援部会 ～子育てと教育のまちづくり～		【部長；小栗】					
目標期間 短期長期	活動計画への展開	計画 番号	【過年度計画の活動総括】		計画期間の活動計画（取り組み）		備 考
					2022年度	2023年度	
(1) おはようみまもり・おかえりみまもり (③⑬)							
○	○	みまもり意識の向上と情報宣伝活動	①	「みまもるもんプレート」などのグッズを製作・販売やポスター掲示で「毎日どこかで誰かが見守り」の習慣化を図る。 プレート・キーホルダーの認知度の向上・普及が課題	幼稚園、小学校での「みまもるもん」の更なる普及を目指す。 (新規入園・入学の保護者向けの説明会や在校生保護者が来校する際に配布するなど日常的なみまもりの浸透を図る)		安全
○	○	子どもを守る防犯活動の実践	②	コロナウイルス感染症により、人を集めての防災・防犯教室などが実施できなかった	子どもの防犯意識を高めるために安全部会との連携 キッズおおみやの土曜日活動にて防災教室・防犯教室を年1回の実施を目指す。幼稚園の降園指導を継続実施。		
(2) 子育て世代が気軽に集える場所・交流の場としてのイベント実施 (⑬⑭)							
○	○	交流の場としてのフリースペース等の活用と周知	①	「おいでよ、ゆめのくに」は好評につき継続中。ドッジボール教室など、親子参加型の活動の実施	「おいでよ、ゆめのくに」、親子参加型の活動は継続して実施 2022年度、幼稚園のひよこ組は実施。2023年度は園が民営化されるため未定		
	○	交流の場としてのイベント実施	②	2020～2021年度はコロナウイルスの影響で実施できず	子育て世代からのニーズがあるのか、実施における人員の確保・実施形態の検討が必要などが今後の課題で要検討 キッズおおみやの活動に保護者参加を呼びかける		
(3) 制服・フォーマルウェアレンタル事業・不用品交換事業 (⑭)							
	○	制服・フォーマルウェア、レンタル事業	①	幼稚園の標準服・体操服へのニーズが多く、小学校・中学校向けもリユース事業は継続。レンタルよりも引き取りのスタイルにて実施	リユース品の回収対象品、回収方法を再検討し、引き続き実施を目指す また、リユースリサイクルの周知方法の検討が必要		
	○	不用品交換事業	②	避難所見学会において物々交換会の実施	物々交換会の継続実施		安全
(4) 子ども食堂の展開・学習支援および居場所づくり (⑭⑮)							
○	○	学習支援	①	社協での「おかえりスタディ」や中高生向けの学習支援を実施。「おかえりスタディ」は申し込みの増加に伴い、週1回から週3回に拡大し人数を分散させて実施	「おかえりスタディ」では、大学生のサポートがあり、年の近い年長者との交流ができ好評のため継続実施 「おおみや未来塾」はコロナウイルスの状況をみて検討・再開を目指す		
○	○	子ども食堂	②	社会福祉協議会の「おもてなし食堂」「おおみやレストラン」を実施 キッズおおみやの「おんどく朝ごはん」はコロナウイルス感染状況をみながら実施。参加者も多い	好評につき継続実施 好評につき、継続実施することで家や学校以外での「子どもが安心できる居場所」を目指す		福祉
	○	図書室・公民館などの施設を利用した居場所づくり	③	コロナウイルス感染拡大により実施できず	状況を判断し実施検討		
(5) 子どもたちへの社会経験の機会提供 (⑮⑯)							
	○		①	2020～2021年度はコロナウイルスにより実施見送り	コロナウイルスの状況をみて実施にむけて再検討		情報人財
(6) 地域一体型の放課後子ども教室事業を運営 (⑫⑬)							
	○	学校運営協議会・地域教育協議会、放課後子ども教室、バンビーホーム等の一元化指向	①	実施主体が異なるため、同じ立ち位置で協議することは困難。特にバンビーホームの一元化には、相応の担当者との協議が必要であり、実現化はトップの理解と声かけにかかってくる。現状での実現は難しい	実現の可能性をふまえ、体制など継続しての検討が必要		企画財務
(7) 教職員の授業・部活サポートニーズ把握と充実実施 (⑬⑭⑮)							
	○	教職員の授業・部活のサポートニーズ把握と必要な支援態勢をつくる	①	幼稚園 西方寺へのおでかけ随行の実施 小学校 新1年生下校指導の実施 ・5年生のミシンサポートはコロナにより中止 ・5年生のミシンサポート、1年生の凧揚げ見守りは要請により対応	コロナウイルスの状況と園・学校の行事予定や要望に合わせて対応を検討		情報人財
(8) 幼稚園・小学校の備品施設管理維持ボランティア (⑬⑭)							
○		施設管理や備品維持ボランティア	①	幼稚園の草引きは実施できず。小学校は体育参観前に実施	コロナウイルスの状況をみて、実施の場合は地域や保護者への協力を呼びかける		
○		図書ボランティアの充実	②	図書ボランティアはコロナウイルスの状況により実施できず			
(9) 小中学校一貫教育への支援 (⑫)							
○	○	学校運営協議会や地域自治協議会への参加と協力	①	まほろば文化祭が2020-2021年度コロナウイルスにより実施できず	「新・大宮会」などによる教職員との交流（引き続き支援方法の模索）		企画財務
○	○	地域で決める学校予算事業での支援促進	②	小中が一同に会する機会がなかった。支援方法については要検討			

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以降

5 情報人財部会 ～地域活動への理解協力と新しい担い手の発掘に繋がる情報の発受信と共有、共感喚起～ 【部長；櫻井】

目標期間 短期 長期	活動計画への展開	計画 番号	【過年度計画の活動総括】	計画期間の活動計画（取り組み）		備 考
				2022年度	2023年度	

(1) 広報聴機能の強化、広報紙「きずな」等の充実・訴求力の向上（啓発記事と事業報道のバランス）（①③⑦⑩⑬）

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「編集会議」メンバーの更新と役割分担、タイムリーな発行	①	計画通りの発行、8200部の全域配布、QRコード表示	4 4～4 6号及び特別号発行、全域配布、広告掲載勧誘	4 7～4 9号及び特別号発行、全域配布、広告勧誘	広告募集
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「しみんだより等配布事業」の継続による紙媒体の全域配布	②	2020年度に市から受託、33名体制で推進中	抜け漏れのない配布状況の下、引き続き事業推進、人財の発掘	抜け漏れのない配布状況の下、引き続き事業推進	
<input type="checkbox"/>		県や市とタイアップしたタウン誌の発行配布	③	県と連携「まちだより」発行、記事投稿	県コンベンションセンターと連携し発行継続	県コンベンションセンターと連携し発行継続	
<input type="checkbox"/>		広報だけでなく「意見箱」の設置による公聴の実践	④	公民館に加え、子ども農園フェンスに取付け	目につきやすい表示や「きずな」掲載などの投函誘導策の実施	投稿内容の広報及び効果を見て増設検討	注目度向上

(2) 掲示板（市・自治会）の整備、自治協広報版の設置と管理（②③⑦）

<input type="checkbox"/>		設置場所の再検討と一体的管理による効果的利活用	①	各自治会の設置追加希望を募ったが新規要望なし	設置場所を再度点検、自治会の意見を聞き協議会で一体管理へ	前年度経過にもとづき、一体的管理を進める	活用促進
	<input type="checkbox"/>	自治協議会広報版設置の予算確保と管理方法等の検討	②	小学校前の「子ども農園」フェンスに暫定設置	市広報版の代替として予算確保を含め、設置可否及び場所の検討	前年度経過を見て、市広報版の代替として設置	

(3) 大宮メーリングシステムの確立（非常時は災害情報ツールとして活用）（①②③⑭⑱）

<input type="checkbox"/>		ホームページの管理、全員参加又は全会員活用を目的	①	HP立ち上げ。理事・代議員の活用の実施促進	ホームページの充実、未活用者への拡大を図る	ホームページの更新、未活用者への拡大を図る	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	災害情報の発信の仕組み、維持管理体制づくり	②	日常の安否確認を含め、災害時支え合いの検討	「おおみや安心システム」運用、システム変更への検討	「おおみや安心システム」運用、漏れ落ちる人への対応	システム維持 継続方法確立
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「おおみや安心システム」活用による事業情報の周知	③	「おおみや安心システム」登録者募集中	情報格差解消策による「おおみや安心システム」運用	「おおみや安心システム」運用による周知徹底	
<input type="checkbox"/>		グループラインによる情報伝達の迅速化・ペーパーレス化	④	分野別活動グループごとに立ち上げ試行	分野別活動グループごとに立ち上げ、タイムリーに実践	分野別活動グループごとに効果的実施	

(4) IT・マスコミを活用した「大宮地区自治協議会」の認知度の向上（①～⑱）

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各部会からの要請を受けて対応する	①	コロナ禍の中、マスコミにPRする事業なし	コロナ禍の収束を待ち、行事・催物をPRするなど知名度向上	行事・催物をPRするなど知名度を上げる	
--------------------------	--------------------------	------------------	---	----------------------	------------------------------	---------------------	--

(5) マンション管理組合・事業所への地域参加呼びかけと組織化（②⑩⑱）

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未加入のマンション管理組合に対する訴求継続	①	マンション管理組合への加入要請継続	「きずな」紙面等を通じ、前年度に準じ組織拡大を図る	前年度に準じ組織拡大に努力	加入要請
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業所等へのあらゆる機会を捉えたアプローチ	②	「県民共済」始め大手7事業所の加入	地域情報提供と事業所への組織拡大を推進	地域情報提供と事業所への組織拡大を推進	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	加入管理組合・事業所への情報提供と地域活動の連携	③	「きずな」の配布に留まる	「きずな」などの配布始め地域情報の提供共有	「きずな」などの配布始め地域情報の提供共有、活動参加	

(6) 地域の役に立ちたいという人のニーズに応える事業や動機付けの実施（⑭⑱⑲）

<input type="checkbox"/>		「地域デビュー講座」の開設など社会参加の機会づくり	①	問題意識あるが、具体的進展なし	ニーズや関係事例の調査検討、具体的実施計画づくり	経過を踏まえ、関係機関と協議し実施へ	試験実施
	<input type="checkbox"/>	市からの受託事業の拡大による担い手の募集など拡大	②	しみんだより等の配布事業受託、避難所運営一部受託	市との新たな受託事業の検討協議	市との新たな受託事業の実施協議、体制の整備	
	<input type="checkbox"/>	近くで働きたいという若年層・子育て世代への情報提供	③	問題意識あるが、具体的進展なし	「きずな」の活用や「安心システム」による呼びかけ	若年層、子育て世代の社会参加促進	
	<input type="checkbox"/>	「Withおおみや」「ジェネレーションM」など受け皿の充実	④	年齢層別受け皿の検討、メンバー呼びかけ進展せず	年齢層別受け皿設置、メンバー呼びかけ推進	年齢層別受け皿設置、メンバー呼びかけ推進	
	<input type="checkbox"/>	地域活動参加インセンティブの模索と制度設定	⑤	福祉活動ポイント制のみの活用	有償ボランティア制の導入(独自ポイント、謝金制の検討)	有償ボランティア制の導入(独自ポイントや謝金制の実施)	予算確保

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以降

2021.12.30.

8 人権教育推進委員会 ～共生社会に呼応した持続発展するまちづくり～ 【部長；鳶野】

目標期間 短期 長期	活動計画への展開	計画 番号	【過年度計画の活動総括】	計画期間の活動計画（取り組み）		備 考
				2022年度	2023年度	

(1) 関係機関と連携した権利擁護の諸施策の推進（⑩）

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	権利擁護の諸施策の推進、関係する部会との連携	①	「きずな」第40号にコロナに関する人権記事掲載	諸制度の調査と理解増進	諸制度の調査と理解増進	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人権問題変化に伴う研修啓蒙活動の実施	②	引きこもり「カンパニユラの夢」DVD研修を実施	行政との連携を図り研修会を実施	行政との連携を図り研修会を実施	

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以降

2021.12.30.

6 企画財務部会 ～分野別部会を支える企画・全体運営・財務・事務機能などの整備充実～

【部長；吉岡】

目標期間		活動計画への展開	計画番号	【過年度計画の活動総括】	計画期間の活動計画（取り組み）		備考
短期	長期				2022年度	2023年度	
(1) 組織と活動のあり方の考察提言と総ての活動のPDCA確認（費用対効果の視点）							
○	○	協議会組織と活動のあり方の不断の考察と提言	①	課題解決の分野別組織や活動のあり方の検討と見直し	分野別「部会」制による第2次活動計画の稼働充実・確認 ⇒	第2次活動計画の進化と総括、第3次活動計画の策定	
○		数値化されたメジャーメント（評価基準）の設定	②	コロナ禍により「活動評価シート」の提出は限定的	「活動評価シート」作成、各部会の定期的開催・意志疎通	「活動評価シート」を見直し、2024年度から再適用	評価シート活用
	○	PDCAサイクルの実践と定着(費用対効果の視点)	③	コロナ禍による活動の停滞により定着せず	費用対効果を意識できる仕組みの検討（定性的評価等）	費用対効果を組み込んだ活動計画づくり（定量的評価へ）	
	○	NPO法人設立を目指した活動、作業の実行	④	地区社協が特定非営利活動（NPO）法人認定	NPO社協からの報告等、希望団体への講習会開催	希望団体の事前準備作業、申請手続きの開始・認定へ	
(2) 活動計画策定作業チーム編成と策定作業の実施、合意形成（第2次⇒第3次自治活動計画の企画立案から合意形成など策定業務全般）							
○		第2次活動計画の立案・内容調査など策定業務全般	①	第1次計画の総括と第2次計画の骨格決定、理事会での承認	第2次活動計画の策定、理事会・総会承認、2022計画実行	第2次計画進化・総括、第3次計画の骨格策定、理事会承認	臨時総会議案
○		WG・PTなどの計画策定作業チームの発足	②	正・副会長会議の設置、作業チームの編成と企画立案	計画策定作業チーム編成による合意形成手続き	第3次計画策定作業チームによる過年度総括と企画立案	事務局強化
(3) 業務受託（行政業務の有償肩代わり）、事業所等との協賛・連携協働							
○		受託事業の円滑運営実施	①	しみんだより等配布事業受託及び避難所運営一部受託	配布事業等受託事業の円滑実施、人財発掘・確保	受託業務の管理運営体制の整備、人財発掘・確保	
○	○	行政機関への働きかけと折衝による実現	②	行政への積極的なアウトソーシング要請、業務リストアップ	市自治連合会レベルで行政と協議（地域・行政双方からの対象業務突き合わせなど年間継続）		行政折衝継続
○	○	事業所・商店等への働きかけ（協賛事業）	③	広報紙【きずな】等への有料広告の募集（実績あり）	事業所・商店等へのPR、広告掲載の働きかけ、コロナ禍収束後の事業への参画協働実現（年間継続実施）		
(4) 各種助成金への積極応募及び基金設立など広く薄く集める手法の模索と試行							
○		各種助成金情報のキャッチと積極応募	①	情報のキャッチ及び応募機会喪失の懸念あり	事務局収集の情報を各部会に伝達、各部会が挑戦（年間）		
	○	基金づくりの検討と創設（拡く薄く集める等）	②	資金確保のあらゆる選択肢を模索	「（仮称）支え合い基金」など基金づくりやクラウドファンディングの研究検討と実施へ		
(5) 予算確保と各活動体への活動資金の配分							
○	○	自治協議会収入の安定的確保	①	予算のコロナ禍による見直し、2021年度の見直し編成	組織拡大による収入増(継続)、交付金増額要望（対；市）、事業による資金確保、助成金獲得など多面的に実施		
○	○	限られた資金の効率的支出執行	②	各活動体ヒアリングによる適正な予算配分	2022年度見直し・配分、「評価シート」などによる検証	前年度の点検、2023年度期分の確認、2024年度ヒアリング	総会承認
(6) 事務機器（もの）の整備と事務局機能（人）の充実							
○		事務拠点の確保と通信環境等の整備	①	事務拠点（公民館）の維持運営文書交換（対；市）、稼働	「おおみや安心システム」対応、入退出管理簿などによる使用ルールの徹底、事務機器の効率使用		
○		事務用機器類の充実による事務効率化	②	助成金申請と備品充実管理、当面の目途達成	助成金による備品増強とメンテナンスによる備品管理の徹底、省人化への検討実施		
○	○	各活動のIT化推進基盤づくりでペーパーレス化	③	ホームページの管理充実	「おおみや安心システム」との連動、災害時情報・安否確認・イベント連絡などの機能による双方向通信の確立		
○		事務局員の採用などマンパワー増	④	事務局員の採用と引継ぎ	人件費の確保による雇用継続、情報共有・役割分担など事務局全員の処理能力向上		

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以降

2021.12.30.

7 おおみや安心システム推進会議 ～“孤立ゼロ”をめざし、支え合いの思いをカタチに～

【部長；潮崎】

目標期間		活動計画への展開	計画番号	【過年度計画の活動総括】	計画期間の活動計画（取り組み）		備考
短期	長期				2022年度	2023年度	
○		「おおみや安心システム」の構築	①	プロジェクトチームによるシステム設計と体制整備	データベースの整備、システム変更への検討、資金確保	システム運用、推進態勢整備、継続への資金確保	
○		「おおみや安心システム」の運営推進	②	「推進会議」の設置とPR・登録募集募集活動の実施	情報格差解消策との合わせ技による説明会で登録者増	関係先との協議、「孤立ゼロ」への個別避難計画策定	
○	○	「おおみや安心システム」の発展的運営	③	システムに乗れない人への講習会の実施など対策検討	対象者の把握とサポートする仕組みづくりの検討	サポート体制の推進等、仕組みによる実践活動	

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以降

2022.1.11.